

平成 17 年度安全保障国際シンポジウム・プログラム

1 テーマ：「21 世紀の安全保障環境における軍の変革」

2 日 時：平成 18 年 2 月 1 日（水）

3 場 所：グランドヒル市ヶ谷 3 階 瑠璃の間
新宿区市谷本村町 4 - 1 電話 3268 - 1111（代表）

4 プログラム：

オープニング・セッション

議長：山口 昇（防衛研究所副所長 陸将補）

1000 ～ 1005 開会挨拶 河尻 融（防衛研究所所長）

1005 ～ 1010 来賓挨拶

1010 ～ 1020 議長からの趣旨説明、発表者等の紹介

1020 ～ 1050 基調講演 演題：「米軍の経験からくみ取られたトランスフォーメーションの教訓」
ラリー・D・ウェルチ（米国・元米空軍参謀長・前国防分析研究所所長）

1050 ～ 1100 休憩

第 1 セッション「新たな脅威・情報 RMA への各国の対応」

議長：山口 昇（防衛研究所副所長 陸将補）

1100 ～ 1130 発表 「新たな脅威およびいわゆる RMA への対応」
マイケル・オハンロン（米国・ブルッキングス研究所上級研究員）

1130 ～ 1200 発表 「新たな問題と新たな解答？ - 安全保障上の懸念が変化する時代の RMA -」
バーナード・フック・ウェン・ルー（シンガポール・IDSS 助教授）

1200 ～ 1300 討論者からのコメント
イ・ジョンミン（韓国・シンガポール国立大学客員教授）
廣中雅之（航空自衛隊幹部学校副校長 空将補）
武居智久（海上幕僚監部監理部副部長 海将補）
パネリスト間の討議、及びフロアからの質問

1300～1430 昼食・休憩

第2セッション「米軍の変革への各国の対応」

議長：近藤重克 防衛研究所統括研究官

1430～1500 発表 「トランスフォーメーション下の在韓米軍再編と2020年の韓国国防改革」

ナム・チャンヒ（韓国・仁荷大学教授）

1500～1530 発表 「米国の同盟軍は米軍のトランスフォーメーションにどう対応するのか？」

クリス・ドネリー（英国・連合王国国防学院上級研究員）

1530～1630 討論者からのコメント

マイケル・G・ビッカーズ（米国・戦略・予算評価センター戦略研究部長）

高橋杉雄（防衛研究所研究部第2研究室教官）

パネリスト間の討議、及びフロアからの質問

1630～1645 休憩

総合討議（日本の対応を含む）

議長：近藤重克 防衛研究所統括研究官

1645～1740 総合討議及び議長総括

発表 徳地秀士（防衛庁内部部局長官官房審議官）

山口 昇（防衛研究所副所長 陸将補）

1740～1745 閉会挨拶 山口 昇（防衛研究所副所長 陸将補）